

イランをめぐる軍事行動の即時停止と 外交による平和解決を求める決議

四條畷市議会は、米国およびイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイランの報復攻撃に、深い憂慮を表明します。

中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給の物価高騰などを通じて日本国民および本市市民の生活に重大な影響を及ぼしつつあり、攻撃が長期化すれば、医療物資や薬、食糧まで不足する事態も想定されます。

今こそ求められるのは、軍事力ではなく、対話と外交による平和的解決です。

四條畷市は、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を求め、戦争のない平和な社会を築くことを念願して「非核平和都市」を宣言しており、市議会として、おびただしい犠牲を、これ以上容認できません。また、このたびの双方の攻撃により多数の死者が出ており罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっております。

米国とイスラエル、およびイランは、直ちに全ての軍事行動を停止すること、日本政府は、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交を求めます。

以上、決議します。

令和8年3月23日

四條畷市議会